

⑧ 情報保障

①聴覚障害者です。市役所からの郵便物に問い合わせ先が電話番号しか載っていないこと。



②視覚障害があるのに、市からの通知に点字の記載がない。



③市役所とかの文書に振り仮名がなくて読めない。(知的障害)



④パソコンインターネットが使いづらい。情報が多すぎて何がなんだか分からない。(視覚障害)



⑤ある講演会のチラシの備考欄に、「現状のままで特別な配慮は致しません」とかかれており、手話通訳を頼みづらかった。

⑥市町村の災害情報、緊急放送は、音声放送で聞えない者はわからない。

⑦火事があったときなど、放送があっても分からない。火災報知機が義務化されているが、ろう者に対応したものがない。音声だけ。

差別の問題ではないが、とてもつらい経験

⑧親族で遺産相続があったが、ろう者だから話に入ることもできず、遺産ももらえなかった。

不当な相続

⑨「聞えないので、筆談で。」とお願いしたが、「めんどくさい。」と言われた。

無理解

⑩話の過程の中で、聴覚障害者はいつも結果だけ言われ、話の流れの中に参加できず、集団での会話が楽しめない。

無理解

⑨ 不動産の利用・取得



①精神障害者や生活保護の人はアパートに入らないでと、入居拒否をされた。

②家を借りるときに障害があるため、「火事があったときに逃げられない」という理由で入居を断られた。

③作業所作りで地域の方の反対にあいました。「作業所は街の中でなく山の中に作れ」「この街に作るのには反対だ」と言って聞いてもらえませんでした。



⑩ 選挙及び政治参加



①選挙の投票が点字ではダメと言われた。

②選挙情報に配慮がない。

③盲ろうの女性です。選挙の不在者投票に行きましたが、目が見えないので主人と行ったのですが、「二人一緒ではダメ」と怒られ、「早く早く」と言われ投票できなかった。係の人にじろじろ見られ、嫌だった。

差別の問題ではないが、とてもつらい経験

④弟(精神障害者)は病院に入院しています。選挙のとき、投票所につれていったところ、係員からすでに投票がすんでいるといわれました。入場券は私のところにあるのにと不思議に思い、病院に聞いたところ、投票はすんでいますと言われ驚きました。本人の意思の確認もなく、病院で勝手に投票が行なわれていたので、強く抗議したところ、病院の人たちは不思議そうな顔をしておられました。精神科患者だから判断不能とみて勝手に投票を他人がしておられるようです。

不当な選挙

⑪ 人間関係

差別の問題ではないが、とてもつらい経験

①親戚で祝い事など行事があるとき、親やきょうだいには招待があるが、自分には今まで一度もない。	無理解
②家の中にいたとき、お客がくると自分の部屋の中に身を潜めさせられていた。	無理解
③身体に重度の障害を持つ彼女を、正月に親戚の集まりに連れて行きたいとおじさんに言ったら、「じいちゃんが気が狂うから」と断られた。	無理解
④うつ病のときに、自分の苦しい思いのとき、父親が「死んだら葬式代がかかる」と言われた。ショックだった。	無理解
⑤精神科に入院していることを、親はずっと恥さらしと言い続けている。	無理解
⑥自閉症の原因は、スキンシップが足りない、育て方が悪かったと言われたこと。	無理解
⑦痛みという「見えない障害」のためにできないことを、話せば話すほど「甘え、サボり」と誤解された。	無理解
⑧親から「あなたは、耳が聞えないから何もできないんだから、お母さんがやるから何もせんでいい」と子供の時に言われた。	無理解
⑨母に「結婚しても子どもは作らないで」と言われた。	無理解
⑩健常者の人から「病気をうつさないでね」と言われて傷ついた。	中傷
⑪父が精神障害を持っていることに、周りや親戚たちから、「頭がおかしい」と言われた。心が痛かった。	中傷
⑫電話をかけたとき、「なんて言っているか全然わからない」と言われて、笑いながら切られた。(言語障害)	中傷
⑬「あの人が兄ちゃんなの」と言われて、弟がいやな思いをした。	哀れみ
⑭急に人がかけよってきて「がんばってください」と言われて握手をされた。	哀れみ
⑮道行く人に「あんなにのにならんでよかった」と聞こえるように言われた。	哀れみ

差別の問題ではないが、とてもつらい経験	
⑩「お金がもらえるからよかね。障害者は年間いくらくらいもらえるのか」と言われた。	偏見
⑪精神障害者だから危なっかしいんじゃないかと危険人物扱いされること。	偏見
⑫子どもに手がかかって大変だと愚痴をこぼしたら、「前世でちゃんと子育てしていないから、今しないといけならしいよ」と身内に言われた時に悲しかった。	迷信
⑬パイプカットしないと結婚させないと身内に言われてパイプカットした。	脅迫
⑭「障害者」と呼び捨てにされるのが嫌だ。	呼称